温度計の精度確認（校正）

温度計は重要な計測機器です。必要に応じて、以下の手順を参考に精度の確認（校正）を行いましょう。

（1）砕いた氷を用意します。氷水に温度計のセンサーを入れ、静置（約１分）後に表示温度が０℃になることを確認します。

（２）次に電気ケトルに水を入れ、沸騰させます。沸騰したら注ぎ口に温度計のセンサーを刺し、沸騰蒸気の温度を測定します。静置（約１分）後に表示温度が100℃になることを確認します。

（注意）

１．やかんは直火の輻射熱の影響を受けるので電気ケトルを使いましょう。

２．施設の海抜高度や気圧によっては、100℃（沸点）にならないことがあります。